

私は千葉県柏市で生活安全産業の一翼を担うべく、警備会社を展開する会社経営者です。ぜひ、新卒高校生の方々に当社の門をたたいて頂きたく、先生方、学校関係者の皆様に日頃から、経営者として思うこと、感じていることを綴ります。文化・芸能・教育・社会・経済・企業の問題を一緒に考えていきたいです。当紙の題名は私の人生訓であり、モットーでもあります。

「マスクが街から消えた日」



直近の株式市場でマスクを供給する会社の株価が大暴騰しています。1月20日前後から、対岸の火事と思われた中国武漢市で広まった奇病が新型コロナウイルスの仕業とわかってにわか

に株式市場で関連企業が買われはじめたのです。
たまたま我が家ではマスクを買い急ぐ必要に迫られることはなかったのですが、念のための用心としてドラッグストアに立ち寄った時にはすでに商品棚からマスクが消えていました。人の流れを制限するのは訪日外国人で賑わう春節後にしようとしたか知りませんが危機意識が甘かったのは明らかです。

当局の対応で国民がいらだつのは、法規制によって不合理な制約を受け感染者が増えることです。「法規制により出来ない」と杓子定規では目の前で苦しんでいる人に諦めてもらう理由にはなりません。

現場で対応する関係省庁の役人は法と人命のどちらを優先するのかを問われる場面があるでしょう。公務員ともなればこの命題には必ず答えを用意しておくべきです。役人に対する国民のイメージは、試験勉強で仕事を勝ち取った人たちの自意識とは残念ながらかけ離れています。「事なかれ主義で要領の悪い連中」とレッテルを貼られない対応を願うばかりです。



毎号、「マケテタマルカ」をご精読いただきありがとうございます。
当社は2020年3月末まで、今年度卒業生の採用活動を行います。お問い合わせをお待ちしております。

松本 隆一郎